

今日の説教のポイント<マタイによる福音書 17 章 14~20 節

①イエス様がいない中で起こったことの意味は？

事はイエス様が留守の間に起こりました。弟子たちだけでは癒せなかったのです。また、「いつまで私はあなたがたと共にいられようか」(17)というイエス様の言葉からは、「まだ私がいらないとできないのか」、というイエス様の嘆きが伝わってきます。弟子たちがしっかりとしていない、自分で立てないことが問題なのではないでしょうか？

②足りなかったのはイエス様への信頼！

イエス様は、「なんと信仰のない、よこしまな時代なのか」(17)、とされています。「よこしまな」の原語は、「曲がる、振れる、歪む」です。真っ直ぐでないことが問題のようです。では、何に対して真っ直ぐなのでしょう？ 何について曲がり、歪んでいるのでしょうか？ 「その子を私のところに連れて来なさい」(17)とイエス様は言われています。悪霊を追い出されたのはイエス様です。何に対して真っ直ぐか？ この主なる神様、イエス様をどこまでも信頼するということに対する真っ直ぐさなのです！ 弟子たちが、このイエス様抜きで、自分の力でしっかりと癒せるようになるのではないのです。

③奇跡を起こせなければダメではない。しかし信仰は奇跡を起こす！

私たちは、「山を移せる」(20)ことが気になります。しかし、信仰深くあるということは、どんな奇跡でも起こせるということとイコールではありません。イエス様も不信仰な人々の間では奇跡を起こせませんでしたし（マルコ 6:5）、パウロは、「山を移すほどの完全な信仰を持っていても、愛がなければ無に等しい」（I コリント 13:2）と教えています。そして何より、イエス様が荒野でサタンの誘惑を受けられた時、サタンの言う通りに奇跡を起こすのではなく、神様の（聖書の）別の言葉を引いてきてサタンを退散させられました（4章）！

しかし同時に、神様を信じ、神様が望まれることを追い求めて生きる時に、確かに、無理だと思われていたことが可能になることも起こるのです（私の経験から：金大中の救出。ジュビリー2000 の取組。どちらもキリスト者の祈りと運動から）！